

第32回夏季大学「新しい気象学」開講のお知らせ

—気象を測る：気象観測の発展と展望—

教育と普及委員会

主催：日本気象学会

後援：気象庁，日本地学教育学会，(財)日本気象協会，(財)気象業務支援センター

●この講座は最新の気象学の普及を目指して，毎年開催しています。小・中・高校の理科担当の先生方の他に，気象学に興味をお持ちの学生や一般の方を対象にカリキュラムを組んでいます。

今回は「気象を測る」と題して，講義と気象庁施設の見学を行います。天気予報などの気象予測や大気環境の解析など，すべての大気科学の分野で気象観測は基礎的なデータを与えます。講義ではラジオゾンデによる観測などの従来の方法とともに，人工衛星，航空機やレーダーによる観測など新しい方法について解説します。

受講料：一般5,500円，教員5,000円，気象学会員・日本地学教育学会員・学生4,500円(消費税含む)

日時：平成10年8月5日(水)(9時30分受付開始)から8月7日(金)までの3日間

会場：東京都文京区本郷7-3-1
 東京大学本郷キャンパス内
 東京大学山上会館
 (次のページの地図を参照して下さい)

●往復はがきの往信に以下の必要事項を，復信には宛先を記入してお申込みください。受付次第，復信にて受講の可否をお知らせします。

- 1 「夏季大学参加希望」
- 2 住所・氏名
- 3 職業
 (該当する方は「気象学会員番号」または「地学教育学会員番号」を，あわせて記入願います)
- 4 連絡先電話番号
- 5 テキストの送付先
 (住所と同じ場合は省略して構いません)

申込先：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4
 気象庁内 日本気象学会事務局

申込締切：平成10年7月14日(火) 必着
 ただし，定員(約100名)に達しましたら締め切らせて頂きます。

受講料支払方法：復信受け取り後，郵便振替によりお支払いください。テキストをお送りします。口座番号等は復信によりお知らせします。

その他：一日目の講義終了後に受講者と講師の懇親会を開く予定です。

●テキストのみ希望される方は，はがきに必要部数を書いてお申込みください。テキストと振替用紙をお送りします。代金は1部1,000円送料240円です。刊行部数が少ないのでお早めにお申込み下さい。

●会場への交通

地下鉄丸の内線

本郷三丁目駅下車徒歩10分

地下鉄南北線

東大前駅下車徒歩10分

地下鉄千代田線

湯島駅または根津駅下車いずれも徒歩10分

都バス東大構内行き

上野浅草口，お茶の水聖橋口：東大病院前下車

都バス荒川土手行き

東京駅丸の内北口：東大正門前下車

都バス駒込駅行き

東京都八重州口：東大正門前下車

●お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局

Tel. 03-3212-8341 (内線2546)

Fax. 03-3216-4401

第32回夏季大学「新しい気象学」 — 気象を測る：気象観測の発展と展望 — 講義時間表

	10:30~12:00	13:30~15:00	15:15~16:45
8月5日 (水)	地上・高層の気象観測 鈴木 宣直 (徳島地方気象台)	気象衛星 隅部 良司 (気象衛星センター解析課)	レーダーとそのデータの利用 鈴木 修 (気象研究所, 気象衛星・観測システム研究部)
	地表面から上空50kmまでの大気の状態、変化を直接その場で観測する手法について、使用される気象測器を中心に基礎的な事項から日本国内における最新の状況までを紹介する。	気象観測を目的とした衛星について、何をどのように観測するか概要を示すとともに、日本の気象衛星「ひまわり」による観測の歴史と来年打ち上げられる次世代衛星の新しい機能を紹介する。	ドップラーレーダーを中心としてレーダーの原理と気象現象への研究のおよび実用的なレーダーの利用について紹介する。
8月6日 (木)	GPS (全球測位システム) を利用した大気観測 萬納寺 信崇 (気象庁数値予報課)	航空機観測と航空気象 吉野 勝美 (全日空, オペレーション管理部)	最近の気象観測をめぐる情勢 上窪 哲郎 (気象庁観測課)
	GPSはもともと受信機の位置を精密に測定するためのシステムである。国土地理院のGPS観測網や衛星搭載のGPS受信機によって、大気の水蒸気や温度が観測できることを紹介する。	航空機観測は、飛行障害現象を的確に監視予測し運航の安全を確保するための重要な手段である。ジェット気流や積乱雲の観測事例等を交え、航空機観測全般について解説する。	気象観測をめぐる情勢は近年大きく変わりつつある。ここでは、近年、世界の気象機関で導入されはじめた新しい観測等を紹介する。

☆ 8月7日は13:30~15:30まで希望者を対象として、気象庁の施設見学(下記のAまたはBコースのうちいずれか)を行います。

Aコース: つくば市 高層気象台と気象研究所

Bコース: 清瀬市 気象衛星センターと気象庁予報部システム運用室

東京大学山上会館案内図

